本資料の内容を無断で転載することを禁じます

製薬協

製薬メーカーによる医薬品情報の提供の工夫と活用促進に向けた今後の展望

第20回日本薬局学会学術総会　シンポジウム10｜2026年10月18日

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会 専門ユニット3（PV/C）ET3-1
篠田 好果（ノバルティス ファーマ株式会社　ペイシェントセーフティ）

Co-creation

本日は、医薬品情報の中でも、RMP（医薬品リスク管理計画書）とRMP資材に焦点を当ててお話しします。
なお、本発表でお示しする内容は個人の見解であり、特定の企業、製品、サービスの推奨を目的とするものではありません。

利益相反（COI）開示

製薬協 Co-creation

発表者名：篠田 好果

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある企業などはありません。

RMP資材は知っている　でも、何を伝えるか迷うことも

製薬協 Co-creation

とある場面のイメージ

医薬品リスク管理計画書（RMP）がある薬の、初回の処方箋が届いた。

RMP資材があることは、把握している。

でも、その場で、

患者さんに何を伝えるべきか、迷った。

情報が公開されていても、患者さんの前ですぐに使えるとは限りません。

RMP資材での説明は、2分以内が約9割

製薬協 Co-creation

昨年の第19回日本薬局学会学術総会シンポジウム１での事前アンケート
RMP資材で情報提供をしている回答者のうち

約9割

は、説明が「2分以内」



その数分で何を伝えるか。それは、患者さんの背景や薬のリスクによっても変わります。

出典：第19回日本薬局学会学術総会 シンポジウム1 事前アンケート（調剤薬局の回答者95名のうち、RMP資材で指導している79名の回答）より。
※自由参加の集計で、集計結果は薬局全体の傾向を示すものではありません。四捨五入のため、割合の合計は100%になりません。

知っている　でも、使うまでにはまだ課題がある

製薬協 Co-creation

状況	エビデンス（PMDA調査）
RMPの理解は広がったようです	RMPの内容を理解している施設 **25.2%**（令和4年度）→ **75.5%**（令和7年度）
一方で、よく理解している施設は約4分の1でした	「よく理解」している施設 **23.5%**
理解度と活用経験には関連がみられるようです	RMP資材を業務に活用したことがある施設の割合 よく理解 **95.6%** ／ 見たことがある **47.5%**

よく理解することと、情報活用には、関連がある？

よく理解して活用していただくために、乗り越えたい「壁」を考えます

出典：PMDA 令和7年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査（Q3-1、Q3-5）。分母は設問ごとに異なります。

情報をよく理解して使うまでの3つの壁（仮説）

製薬協 Co-creation

壁	現場で起きていること	背景となる調査結果
① たどり着く壁 資材があっても、すぐ渡せるとは限らない	確認先も準備の方法もさまざま。品目が多い施設では、探し方や準備方法の工夫が必要になる可能性も。	常時1,000品目以上を在庫している薬局 **約7割**
② 気づく壁 最新の情報・変更点に、気づきにくい	レセコンなどの薬局内システムでは、最新の情報がすぐに反映されるとは限らない。	システムを情報源にしている施設のうち、更新頻度を『即時』と回答した施設は **17.2%**
③ 使う壁 患者さんへの説明に、どう使うか迷う	資材は知っていても、患者さんへの提供や活用の場面・方法が見えにくい。	資材を活用したことがない理由 「活用する機会がない」**44.9%** 「どう活用するか分からない」**37.4%**

冒頭の「患者さんに何を伝えるか迷う」に、いちばん近いのは③の壁かもしれません

出典：PMDA 令和7年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査
（約7割＝回答施設の概要【常時在庫している医薬品数】、n=2,344（1,000品目以上の合計71.1%）、17.2%＝Q1-3、レセコン等薬局内システムを情報源とする施設 n=1,209、44.9%・37.4%＝Q3-9、RMP資材を業務に活用したことがない施設 n=543、複数回答）

壁を乗り越えるために、製薬メーカーが進めていること・検討したいこと

製薬協 Co-creation

3つの壁に向けた取り組み（例）

① たどり着く壁

- **届ける：**各社MRが足並みをそろえて対応できるよう、説明会資料の作成・公開[1)]
- **探す：**複数社のRMPやRMP資材を、製品名からまとめて探せる環境づくり、ウェブ検索だけでなく、AIでも正確で適切な情報につながるような環境の推進

② 気づく壁

- **レセコンなどからのアクセス：**製薬メーカーだけでは難しい領域であり、行政、システム提供側、薬局の皆さまと連携して検討したい

③ 使う壁

- **活用の推進：**調剤薬局向けのRMP利活用事例集を公表[2)]
- **わかりやすさの向上：**患者向け資材を開いてすぐ、最も大切なことが伝わる形へ（昨年の提案「患者向け資材の冒頭に、最も大切なことを」の実現に向けて）

リンク：1)MR向けRMP研修スライド（令和7年8月改訂）｜医薬品評価委員会の成果物 一覧｜日本製薬工業協会
2)【製薬協Webサイト公開】PV：KT1　RMP／RMP資材の利活用事例集～主に調剤薬局向け～

将来は業務の流れの中へ　その前に、今できる3つのヒント

製薬協 Co-creation

将来：目指す姿（イメージ）

※下段の説明は、イメージとしての一例（案）です

必要な最新情報に、**業務の流れの中で、つながる**

受付	調剤	服薬指導	継続フォロー
例	例	例	例
処方薬ごとの注意情報や関連資材を自動表示	最新の安全性情報・改訂情報を自動反映	患者さんの状況に合わせ伝えるべき重要情報を提示	フォロー結果と安全性情報を連携し継続支援

ただし、これらはすぐには実現できません

そこで、待たなくても、今日から使える、ヒントをご紹介します

ヒント1　知る・探す
①たどり着く壁に対応

ヒント2　更新に気づく
②気づく壁に対応

ヒント3　理解して使う
③使う壁に対応

ヒント1 知る・探す：今ある入口から広げる

製薬協 Co-creation

まずは、すでに使っている入り口に＋αの効率化を。

① 今ある入口

PMDAの医療用医薬品情報検索
レセコンなどの薬局内システム

RMP資材の有無の確認先

PMDAの検索	**47.6%**
薬局内システム	**41.0%**

② 続けて見る

マイ医薬品集
（PMDAメディナビの追加機能）

よく扱う薬を登録して、継続して見る

登録した薬の情報を、
一覧や通知で確認する

③ まとめて見る

企業横断の検索
（例：PhindMI）

複数社の製品を検索する

複数製品を、
まとめて確認する

出典：PMDA 令和7年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査（Q3-7：RMP資材の確認方法。RMP資材を業務に活用したことがある施設 n=1,699、複数回答）

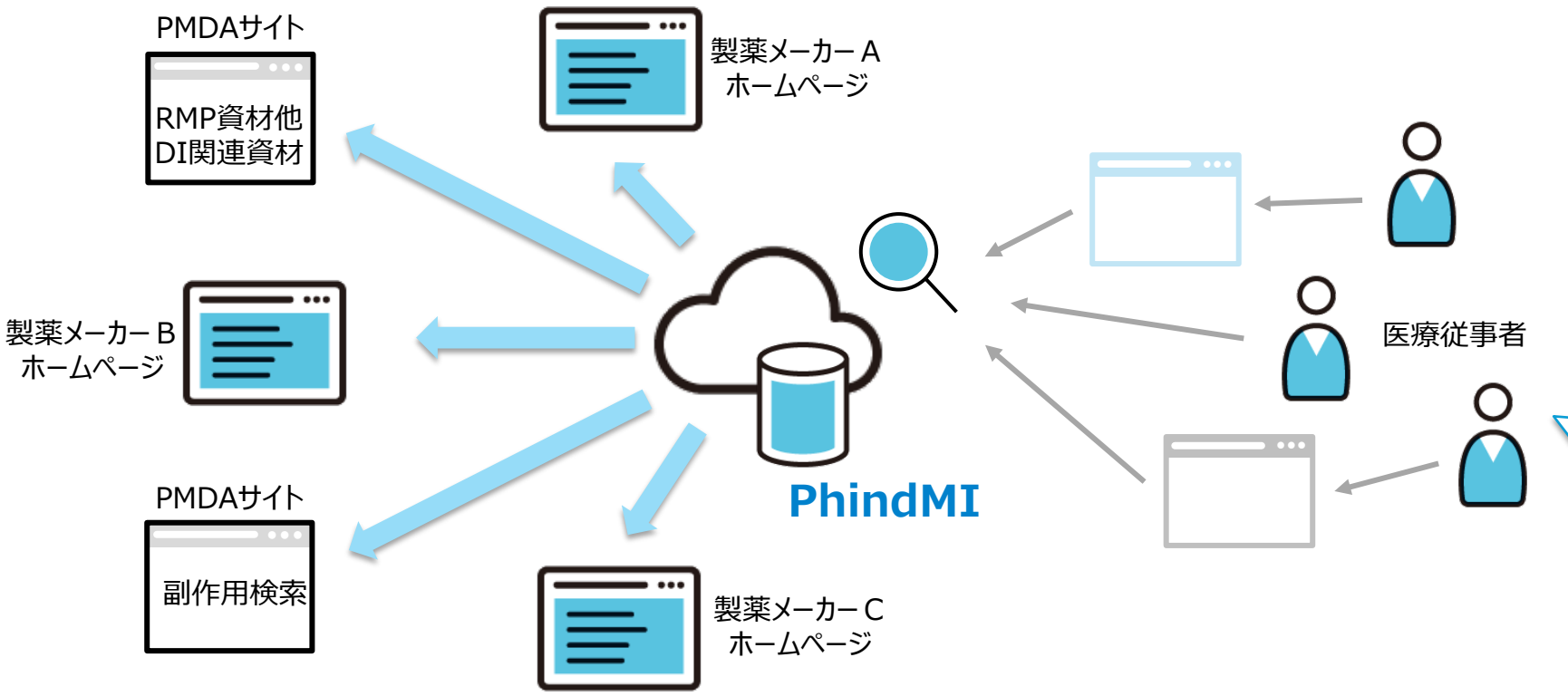
ヒント1の続き：企業横断で探せる環境（例：PhindMI）

一例であり、特定サービスの推奨ではありません。運営：BIPROGY株式会社（製薬協くすり相談対応検討会と連携）

製薬協 Co-creation

PhindMI（ファインドエムアイ）とは？ Pharma innovation database for Medical Information

製薬メーカーが作成する、製品Q&A、電子添文、インタビューフォームに加え、
RMP／RMP資材を含む各種DI資料も横断検索可能な情報検索プラットフォーム



2019年10月：
5社で開始。参加企業の製品Q&A（FAQ）などを企業横断で検索できるサービスとしてスタート。

2026年5月（情報拡大版）：
参加企業15社のQ&Aに加え、PMDA掲載の全企業を対象としたRMP・RMP資材・患者向医薬品ガイドなども検索可能に。

検索可能な情報
- 製品Q&A
- 電子添文
- インタビューフォーム
- RMP／RMP資材
- 患者向医薬品ガイド
- 副作用検索

リンク：TOP | PhindMI 医療用医薬品情報検索サービス （確認日：2026年10月1日）

ヒント1の続き：複数製品のRMPを、まとめて確認



RMP・RMP資材・患者向医薬品ガイドは、
PMDA掲載の全製品が検索対象
注：製品Q&Aなどは、参加企業（15社）の情報のみが対象です

RMP・RMP資材他 検索結果

2026年8月現在

一度に10製品まで一覧表示が可能

検索結果 1～5件（5件）　表示件数 50件

製品名	製造販売業者等	リスク管理計画（RMP）	RMP資材（医療機関向け）	RMP資材（患者向け）	患者向医薬品ガイド	電子添文	インタビューフォーム
ダミーA点滴静注100mg	製造販売元／Aファーマ	○	○○	○	○○	○○	○
ダミーA点滴静注120mg	製造販売元／Aファーマ	○	○		○	○	○
サンプルB点滴静注20mg	製造販売元／B薬品工業	○	○○	○	○○	○○	○
デモC点滴静注240mg	製造販売元／C製薬	○	○○		○○	○○	○
テストD点滴静注100mg	製造販売元／Dファーマ				○○	○○	○

一覧のリンクから、PMDAサイトの原文へ

ヒント2 更新に気づく：見ている情報の更新タイミングを知る

製薬協 Co-creation

薬局内システムの情報が「即時」または「1日1回」更新されると回答した施設は、合わせて**28.5%**（即時17.2%＋1日1回11.3%）。薬局内システムへの情報の反映時期はさまざまです。最新情報を確認するための手がかりをご紹介します。

① 気づく

PMDAメディナビ・マイ医薬品集

- **メディナビ：**RMPの新規掲載と、決められた種類の重要な更新が届きます。
- **マイ医薬品集：**登録した薬の更新情報が一覧や通知でわかります。

② 最新版を開く

PMDAのWEBサイトなど

- レセコンなどへの反映時期は施設で異なるようです。
- 対応例：反映頻度に応じて、PMDAサイトなどで最新版を確認します。

③ 変更点を確かめる

RMPの「変更の履歴」欄

- 通知では、何が変わったかまではわからないため、RMPの変更履歴で変わった点を確認します。

変更の履歴
前回提出日
変更内容の概要：
変更理由：

出典：PMDA 令和7年度 薬局における医薬品安全性情報の入手・伝達・活用状況等に関する調査（Q1-3：レセコン等薬局内システムを情報源とする施設 n=1,209。28.5%は「即時」17.2%と「1日1回」11.3%の合計）。

ヒント3 理解して使う：まずはRMPは「概要の1ページ」から

製薬協 Co-creation

ご存じの方も多いと思いますが、RMPの『概要』を改めてご紹介します。RMPの概要には重要な情報がつまっています。

（別紙様式２）

○○○○○○（販売名）に係る
医薬品リスク管理計画書（RMP）の概要

販売名	○○○○○○	有効成分	○○○○○○
製造販売業者	○○○○○株式会社	薬効分類	○○○○○○
提出年月日		令和○年○月○日	

1

1.1. 安全性検討事項

【重要な特定されたリスク】	【重要な潜在的リスク】	【重要な不足情報】
（重要な特定されたリスクの名称）	（重要な潜在的リスクの名称）	（重要な不足情報の名称）

1.2. 有効性に関する検討事項

（有効性に関する検討事項の名称）	

↓上記に基づく安全性監視のための活動

2. 医薬品安全性監視計画の概要

通常の医薬品安全性監視活動
追加の医薬品安全性監視活動
（医薬品安全性監視活動の名称）

3.有効性に関する調査・試験の計画の概要

（有効性に関する調査・試験の名称）

↓上記に基づくリスク最小化のための活動

4. リスク最小化計画の概要

通常のリスク最小化活動
追加のリスク最小化活動
（リスク最小化活動の名称）

各項目の内容はＲＭＰの本文でご確認下さい。

2

安全性検討事項：注意すべきリスクが確認できる

1

1.1. 安全性検討事項

【重要な特定されたリスク】	【重要な潜在的リスク】	【重要な不足情報】
（重要な特定されたリスクの名称）	（重要な潜在的リスクの名称）	（重要な不足情報の名称）

2

4. リスク最小化計画の概要

通常のリスク最小化活動
追加のリスク最小化活動
（リスク最小化活動の名称）

追加のリスク最小化活動：
リスクを最小化するための活動が確認できる
名称をクリックすると活動内容が確認できる

3 **資材** 概要の外

追加のリスク最小化活動に名前のある資材で、誰に・何を伝えるかを確認！

例えば、こんな場面で使えます

概要で把握したリスクを、患者向け資材で、患者さんへの説明や確認につなげます（一例）

事前	服薬指導	継続フォロー
概要で、注意するリスクを把握	患者向け資材を用いて、初期症状や注意点を患者さんと確認する	資材を手がかりに、体調の変化を確認する

「何に注意し、何を伝え、その後何を確認するか」までつなげる

リンク：【製薬協Webサイト公開】PV：KT1　RMP／RMP資材の利活用事例集～主に調剤薬局向け～をもとに作成

仕組みが整うまで、今日からできる3つのこと

製薬協 Co-creation

1	**知る・探す**	PMDAの検索等で、よく扱う薬のRMP・資材の場所を確認する
2	**更新に気づく**	PMDAメディナビの通知やマイ医薬品集で更新がわかった薬は、RMPの「変更の履歴」を確認する
3	**理解して使う　★おすすめ**	**新しい薬の採用・初回入荷、または初回の処方時などに、「概要の1ページ」を開く**

まずは1品目から、RMPの「概要の1ページ」を開いてみてください

業務の流れと情報をつなぐ

行政・システムベンダー・薬局の皆さまとともに

1. 情報提供（PUSH）

- **1.1. PMDA**
  - メディナビ
  - マイ医薬品集
- **1.2. 製薬メーカー**
  - MR
  - Eメール
  - ダイレクトメール
- **1.3. 薬局**
  - 薬局DI
  - レセコン



2. 自分で探す（PULL）

- **2.1. PMDA**
  - WEBサイト
  - マイ医薬品集
- **2.2. 製薬メーカー**
  - WEB
  - MR
  - コールセンター
- **2.3. その他民間サイト**
- **2.4. 生成AI**
- **2.5. 薬局**
  - 薬局DI
  - レセコン

システムと情報がタイムリーに連動

最新の医薬品安全性情報
（電子添文、RMP、RMP資材ほか）

将来：システム連携で、
業務の流れと情報をつなぐ

情報を「探す」から、業務の流れの中で「出会う」へ

製薬協 Co-creation

仕組みがつながり、必要な場面で必要な情報が手元に届く姿を目指して

皆さまへ：今日から

まずは1品目、
RMPの「概要の1ページ」で、
注意するリスクと
伝えることを確かめる

製薬メーカーとして：これから

- 行政・システムを提供する側・薬局の皆さまと、**業務の流れと情報をつなぐ仕組み**を検討する
- ウェブ検索だけでなく、AIを活用した情報探索においても、**信頼できる情報にアクセスしやすい環境**を目指す
- 資材をより使いやすくするために、**活用する方からフィードバックいただける仕組み**も、関係者の皆様と検討したい

届けるだけでなく、届いて使われる情報へ。
必要な場面で活用されてこそ、情報の価値がある。

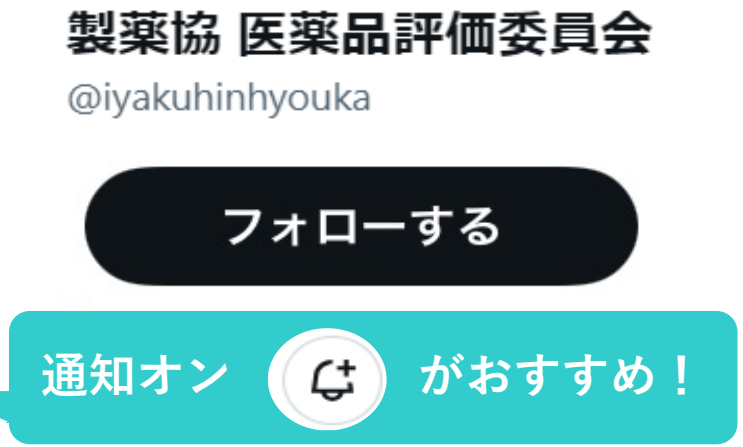
医薬品安全性情報を、必要な場面で活用しやすい環境づくりに、取り組みます。

医薬品評価委員会 公式X （旧Twitter）のご案内

成果物などの情報を発信していきます
是非フォローおねがいします！

カプセル君





作成担当/編集

本資料の内容を無断で転載することを禁じます

製薬協 Co-creation

リーダー兼コーディネーター	竹本　信也	(中外製薬株式会社)
サブリーダー	野口　正浩	(アステラス製薬株式会社)
	北川　南都子	(日本イーライリリー株式会社)
	篠田　好果	(ノバルティス ファーマ株式会社)

奥平　可奈子 (エーザイ株式会社)
田中　知行　(大塚製薬株式会社)
安東　亜希子　(グラクソ・スミスクライン株式会社)
原田　郁子　(住友ファーマ株式会社)
水田　藍　(千寿製薬株式会社)
藤﨑　瑠美　(大正製薬株式会社)
橋本　由紀　(武田薬品工業株式会社)
堀田　寛子　(田辺ファーマ株式会社)
中西　晋平　(中外製薬株式会社)
田中　佐千代 (日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社)
隅谷　真依　(ファイザー株式会社)
海野　一郎　(マルホ株式会社)
森田　愛子　(Meiji Seikaファルマ株式会社)

日本製薬工業協会 医薬品評価委員会　PV/C専門ユニット　ET3-1（2026年度）
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-3-11（日本橋ライフサイエンスビルディング）
TEL：03-3241-0326　　FAX：03-3242-1767